

令和4年度群馬県予算等に係る重点要望

群馬県市長会

【項目】

- 1 「新型コロナウイルス感染症対策」について
- 2 「防災減災及び災害対策」について
- 3 「豚熱(CSF)対策」について

【重点要望1】 「新型コロナウイルス感染症対策」について

新型コロナウイルス感染症は、急拡大した第5波が、やっと縮小しましたが、いつ第6波が押し寄せるのか、予断を許さない状況であります。

そこで、これまでの課題について整理し、次年度以降も、対策を取らねばなりません。特に、ワクチン接種、医療・検査体制等の積み上げ及び関連する地域経済対策等、財政支援について、令和4年度群馬県予算の重点化を求めるものです。

本県では、県営ワクチン接種センターがいち早く設置され、接種率も常にトップクラスを走ってきました。先日、3回目の追加接種についても、県営接種センター設置をお願いしております。

今後においても、本県の対応に期待しており、次の事項について対策をお願い申し上げます。

1 今後のワクチン接種について

- ・ 令和4年度以降もワクチン接種が続くと思われます。今後もワクチン供給・接種計画について、できるだけ早期に提供していただくとともに、各市の負担が極力生じないよう対応をお願いしたい。

- ・ 県営ワクチン接種センターの設置により、多くの市民がモデルナ社製ワクチンを接種できたことから、追加接種を混乱無く行うためには、これまでの体制の継続が必要でありますので、1・2回目接種時と同様、県が主体となって大規模接種センターを設置するなどして、効果的な接種体制の確保をお願いしたい。

2 医療・検査体制の積み上げについて

- ・ 第5波の感染拡大期に見られた、医療体制の脆弱性を修正し、希望者には、症状に見合った入院・療養できる病床等の更なる充実を求めます。

- ・ ワクチン接種・検査・治療の中心的役割を担っている保健所、地域の公的医療機関及び対応していただく医師会等、要となる機関に対し役割の整理と医師・看護師を含めた運営の充実、財政支援を求めます。
- ・ 重症化リスクのある軽症者は、感染初期に、効果的な治療を受ける必要があり、感染拡大期においても、臨時の医療施設等において、抗体カクテル療法等、適切な治療が施せるようにしていただきたい。

3 地域経済対策について

- ・ 早2年に渉る新型コロナウイルス感染により、多くの業種・事業者に深刻な影響をもたらしています。令和4年度に向けても、困っている中小事業者への支援を求めます。また、出来るだけ早期に各市が支援に取組めるよう配慮願いたい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響による採用内定取り消しや非正規雇用の雇止めなど、労働者にも大きな影響が出ています。そのようなことが拡大しないよう、支援体制の強化や企業への要請を求めます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の防止対策等を強化するため、臨時交付金を県及び市町村が地域の実情に応じて、対応できるよう国に求めていただきたい。

4 W/A コロナ対策

- ・ ワクチン接種率が高まり、緊急事態宣言も解除され、県の警戒度もIに引き下げられましたが、今後も、市民の行動変容が求められます。ワクチンパスポート、テレワーク、オンライン授業、3密回避・マスク着用・換気等の対策継続などニューノーマルな対応を進めるために、令和4年度においても情報発信、情報共有及び財政支援を求めます。
- ・ 検討されている無症状者に対する「ワクチン・検査パッケージ」について、多くの市民が活用できるよう取組みを進めると共に、各市の事務負担が少ない仕組みとなるよう制度構築を期待します。

【重点要望2】「防災減災及び災害対策」について

防災・減災及び災害対策の充実強化を図るため、次の事項について、国への働きかけを含め、十分な措置を講じることをお願い申し上げます。

1 台風・豪雨等異常気象に対する治水・減災対策の推進について

近年、多発する台風・豪雨災害に備えるため、土砂災害・雨水災害対策、堤防整備・排水機場の整備等のハード整備について、計画策定済のものは前倒して早期実現を図るとともに、市が行うインフラ整備に対する財政支援を拡充すること。

河川による洪水被害を未然に防ぐため、治水対策を進めると共に、河川管理体制を強化し、避難情報・避難行動に資すること。

2 大規模地震に対する対応策強化について

切迫する大規模地震に対し、予防保全型インフラメンテナンス強化、避難所・避難経路の整備、災害時広報等積極的な対策強化のため、財政的支援を拡充すること。

3 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

富岡市や熱海市の土石流災害等、近年、傾斜地では大災害を招く危険性があり、対策事業の促進を求めます。

土砂災害警戒区域等を中心とした危険箇所を県において再調査するとともに、必要な対策工事について崖上を含め早急に実施すること。

とりわけ、太陽光発電施設を造成した箇所については、伐採や盛土による地盤の脆弱化に懸念があるので、事業者への指導等の対策を求めます。

4 上水道の老朽管対策について

今後予想される、地震災害において、大きな課題となっている耐用年数を超えた上水道の老朽管対策について、国に対し継続して助成を求める共に、早急な改善のため、財政支援を求めます。

【重点要望3】「豚熱(CSF)対策」について

令和2年10月、令和3年4月・8月・10月と県内で4回豚熱(CSF)が発生し、発生した養豚場では、全頭殺処分が行われました。知事をはじめ、県関係者のご尽力により、早期に完了したことにつきましては、感謝に堪えません。また、ワクチン接種体制を拡充し、知事認定獣医師制度を確立したことや飼養衛生管理の徹底、野生動物対策等に取り組まれ、感染拡大防止にご尽力いただいております。

さて、飼養頭数全国4位を誇る養豚県群馬として、本県は食肉市場にも大きな影響があります。そのような本県農業の主力である養豚業を守り、豚肉の安定供給を図るために、令和4年度も、豚熱(CSF)対策の充実や財政的支援をお願いしたく、重点要望とします。

- 1 イノシシ等侵入する野生動物対策について、感染源とされる、イノシシ等野生動物による豚熱(CSF)ウイルスの持ち込みを防ぐために、広域的な野生イノシシ捕獲体制の確保と支援を求めます。
また、経口ワクチンの効果的な散布についても、引き続きご支援願います。
- 2 国の検査機関等での科学的知見を踏まえ、子豚への接種の適齢期について早急な解明を求めると共に、予防的ワクチン接種体制の更なる充実強化、特に2回接種等の検討を求めます。
- 3 感染豚の殺処分にあって、埋却地を選定する際は、水源等の安全が確保されるよう、地元自治体の意向を十分踏まえること。
特に、都市部ほど埋却地における地下水湧出課題が多く、埋却処分では周辺住民の理解が得難い場合もあることから、移動式レンダリング装置による処理について、早急に検討を進めること。